

# お姫さまの婚礼道具

旧八代城主松井家に伝来した華麗なる婚礼道具を一挙公開

江戸時代、大名家など上級武家の姫君がお嫁入りするときは、その家格にふさわしい婚礼道具が調えられました。婚礼の儀式に不可欠な貝桶をはじめ、化粧道具や文房具、香道具など、姫君の生活に必要なさまざまな品がそろえられ、大名家ともなると金銀蒔絵をほどこしたものが準備されました。

旧八代城主松井家には多くの婚礼道具が伝来しています。いずれも蒔絵をほどこした豪華なもので、松井家の家格の高さをうかがうことができます。今回の展覧会では、松井家伝来の婚礼道具に夫人たちゆかりの品々を加えた85点を展示します。

※写真の作品は松井文庫所蔵



▲小角赤手箱 (江戸時代後期)



▲七宝折崩桐紋蒔絵婚礼道具の貝桶と合貝 (江戸時代後期)



会 期

2月 6日(金)

3月 22日(日)

◆観覧料

一般400円(320円)

高大生300円(240円)

中学生以下無料

※( )は20人以上の団体料金

◆開館時間

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

◆休館日

毎週月曜日

◆主催

市立博物館未来の森ミュージアム、八代市

◆協賛

市立博物館友の会

◆問合せ

博物館 ☎ 345555

特別講演会

「松井章之と琴の結婚」

◆講師

林千寿(博物館学芸員)

◆日時

2月14日(土)

午後2時～3時30分

(開場：午後1時30分)

◆会場

市立博物館講義室

※聴講無料、事前申込不要

※先着80人まで(満席の場合、入場をお断りする場合があります。時間に余裕をもってお越しください)



▲三ツ笹紋唐草蒔絵婚礼道具のうち化粧道具 (江戸時代後期)